

報道発表資料
平成 28 年 5 月 24 日
気 象 庁

静止気象衛星ひまわり 8 号による海面水温画像の公開について

静止気象衛星ひまわり 8 号による詳細な海面水温画像を、5 月 25 日(水)から気象庁ホームページ「海洋の健康診断表」で公開します。

静止気象衛星ひまわり 8 号では、空間分解能および雲域判別処理が向上したことにより、高分解能・高精度の海面水温データの算出が可能となりました。この水温データを基にした海面水温画像を、気象庁ホームページ「海洋の健康診断表」で公開いたします。この画像からは、詳細な水温分布や海流が把握でき、水産業や海運業等への利用が見込まれます。

【気象庁ホームページでの掲載ページ】

海洋の健康診断表

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/shindan/index.html>

「海面水温」 > 「静止気象衛星ひまわりによる海面水温画像」を選択してご覧ください。

【公開する画像の概要】

領 域：日本近海、黒潮域、親潮域、東シナ海、日本海の 5 領域

公開時間：毎日 11 時頃、「前日 9 時～20 時」と「前日 21 時～当日 8 時」の期間で合成した画像 2 枚を公開

水平解像度：2km

【本件担当】気象庁 地球環境・海洋部 海洋気象課 海洋気象情報室

電話 03-3212-8341 内線 5166

(別紙)

静止気象衛星ひまわり 8 号による海面水温画像

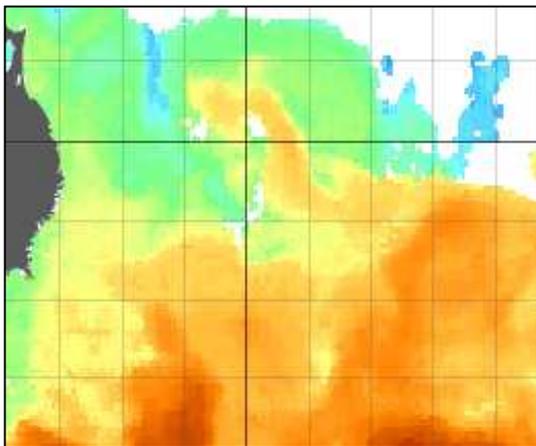
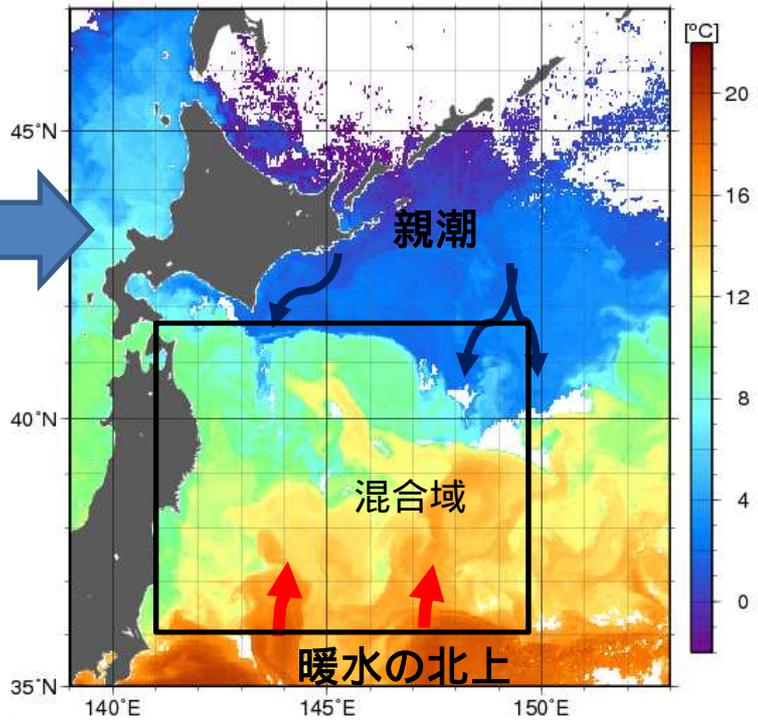
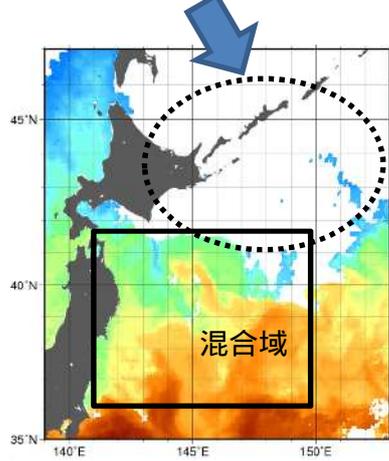
右上図は、2016 年 3 月 17 日におけるひまわり 8 号による海面水温画像、左上図は試験的に作成した同日のひまわり 7 号による画像です。この例では、親潮に対応する低温域が、ひまわり 7 号では雲域として判別され海面水温が算出できていませんが、ひまわり 8 号では多くの波長帯のデータを用いることで雲域と親潮に対応する低温域が正確に判別でき、海面水温が算出できています。下図は混合域付近をそれぞれ拡大したものです。ひまわり 8 号では、空間分解能が向上したことにより、混合域で暖水と親潮系の冷水が混じり合う様子が、より明瞭に表現できています。

このように、ひまわり 8 号によって高分解能・高精度な海面水温値が算出できるようになったため、静止気象衛星による海面水温画像を初めて公開します。本資料により、詳細な水温分布や海流の様子が準リアルタイムで把握できるようになり、水産業や海運業等への利活用が期待されます。

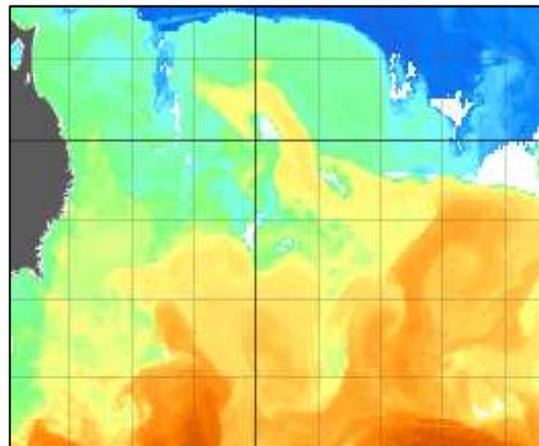
ひまわり7号による海面水温
(水平解像度4km、試験的に作成)

ひまわり8号による海面水温
(水平解像度2km)

低温域では、雲域と海面
が判別できなかった



ひまわり7号(拡大)



ひまわり8号(拡大)